

## フotonテクノロジー技術部会 講演要旨

開催日：2018年12月26日（水） <2018-3 ①>

テーマ：「有機 EL ディスプレイ産業の海外動向（特に韓国、中国）」

講演者：服部 寿氏（分析工房株式会社 照明・ディスプレイ事業部 シニアパートナー）

有機 EL は曲げることが可能で、パネル形状の自由度が高い。各パネルメーカーは有機 EL パネルの耐久性を高め、信頼性と高い輝度が必要な車載向けなどに用途を広げたい考えである。スマートフォン向けのパネルの供給能力が市場規模を超えたとされる現在、有機 EL 産業の拡大は、テレビやその他の市場へと向かっている。

有機 EL パネルを採用した米アップルの iPhoneX の製造数量が期待を下回ったことにより、液晶から有機 EL への転換速度が減速している。この要因はフレキシブルパネルの製造価格、特にカバーウィンドウや電極や偏光板などモジュール部分の価格が現在は高いためである。このために有機 EL の需要は従来の想定を下回る見通しである。さらに、中国パネルメーカーの新工場の稼働がスタートし、歩留まり改善に力を入れているので、供給過剰の懸念が生じている。

表 リジッドとフレキシブルパネルの製造予測

